

## 1パーセントの難関突破で八段合格

岡村敏博さん



八段に合格された岡村敏博さん（左）と、  
息子の剣宗さん（右）

に対して集中し、初太刀一本に心掛けて稽古をしました。試験には座右の名である「木鶏」の心境に心掛けました」と、昇段にかけた思いを話されました。

5月1日と2日、剣道八段審査会が京都市で行われ、岡村敏博さん（中松三区出身）が、合格率1パーセント（1664人中、14人合格）の難関を突破。見事八段合格の快挙を成し遂げられました。

岡村さんは、白水中学校出身。小学2年生から父親の勧めで剣道を始められ、現在では東京都の高校で講師、剣道部顧問として日々指導に励まれています。

今回の昇段試験は9度目の挑戦。合格までの道のりについて岡村さんは、「日々の稽古

## 春の体育祭開催

村内小中学校体育祭

久木野小学校（笹原照明校長）・中学校（坂梨光一校長）の合同運動会と、白水・長陽中学校の体育祭が5月19日、開催されました。

久木野小・中学校では、194人の児童、生徒たちが久木野小学校のグラウンドで日頃の練習の成果を披露しました。

中学生全生徒で行われた紅白対抗「背中渡り」では、背中を渡る生徒と素早く土台となる生徒たちのチームワークが勝利の決め手。両チーム、白熱の闘いが繰り広げられました。

小学生は、2学年ごとに徒走が行われ、全力で走り抜く児童たちの姿に、会場から声援が沸きあがっていました。



真剣な表情で背中を渡り歩く久木野中学校生徒

## 大パノラマ望み山開き

第6回烏帽子岳山開き登山

第6回目を迎えた烏帽子岳山開き登山（主催 村観光協会）が5月20日行われ、県内外の登山愛好家226人が、阿蘇五岳の1つ烏帽子岳（1,337m）の頂上を目指しました。

この日、参加者たちは池の窪駐車場を出発。草千里を経由して片道6キロ、池の窪駐車場との高低差約550mの道のりを、約2時間半かけて歩きました。

この日は、あいにくの強風で、山頂は霧に包まれましたが、途中、咲き誇るミヤマキリシマや、草千里から見渡す南郷谷の景色など、参加者からは「この絶景は、登った人へのご褒美だ」と息を切らせながらも感動の声があがっていました。



大パノラマを背に頂上目指す参加者たち

## 新緑の中をさわやかウォーク

南阿蘇さわやかウォーク in アスペクタ

例年開催されている「南阿蘇さわやかウォーク in アスペクタ」が今年も5月26日、アスペクタ周辺で開催され、県内外から参加した2,200人が新緑の南阿蘇を歩きました。

今年、アスペクタの東側にコースを変更。参加者たちは、「あそ望の郷くぎの」を折り返す5キロコースと、同施設を経由する10キロコースに分かれ、爽やかな風が吹く中、南阿蘇を満喫しました。

ゴールの後は、マーチングバンドやダンスなどのステージイベントや、10万円の商品券などが当たる豪華抽選会が行われました。

今年で4回目の参加になる大津町の女性は、「抽選で一等が当たり夢のよう。今日は思う存分南阿蘇を満喫しました」と、喜びを話されました。



軽やかな足取りで歩く参加者たち

## 農家の人はすごいね

南阿蘇西小学校田植え体験

5月29日、南阿蘇西小学校（日置郁郎校長）の5年生39人が、田植えを体験しました。

田植えは、学校に水田を提供されている北野悦之さん（喜多）の協力のもと、広さ10aの水田に、収穫量約5俵分のもち米の苗を植えました。

同小学校は、4月に長陽、立野、長陽西部小学校の3校が統合。田植え未経験の児童もいて、保護者たちから指導を受けながら丁寧に植えていました。

田植え初体験の鶴田登馬くんは、「田植えは思っていたより難しく、農家の人はすごいなあと思いました。稲が成長するのを毎日見たいくらい楽しみです」と感想をくれました。12月には、収穫したもち米で、餅つきが行われる予定です。



保護者たちに教えられながら丁寧に田植えをする児童たち

## 思いやりの心を忘れないで

「みなまたの木」絵本作家三枝三七子さん講話

5月31日、水俣病をテーマにした「みなまたの木」の絵本作家、三枝三七子さん（東京都在住）の講話が久木野小学校（笹原照明校長）で行われ、5・6年生45人と、久木野中学校（坂梨光一校長）の全校生徒53人が水俣病について学びました。

この講話会は、水俣病の学習に取り組んでいる同小学校が、水俣環境学習の一環として企画したものです。

「みなまたの木」を朗読された三枝さんは、「便利になつた現在を当たり前だと思わないで欲しい。立場が違う人への思いやりの心を忘れないで」と、絵本を通して児童たちに呼びかけられました。

児童たちは、「ゴミを出さないようにします」、「水俣のことを忘れずに生きていきます」と、講話で学んだ感想を述べました。



絵本の朗読を聞き入る児童たち

# 阿蘇外輪山完走に挑む

第22回阿蘇カルデラスーパーマラソン大会



勢いよくスタートしたランナーたち（100キロ）

# HOT NEWS

## 2

南阿蘇村  
ホットニュース

今年で22回目を迎えた「阿蘇カルデラスーパーマラソン大会」が6月2日開催され、1,413人が阿蘇外輪山の完走を目指しました。（阿蘇郡市7市町村で構成する実行委員会主催）

100キロと50キロのコース（男女別）があり、100キロコースは「総合福祉温泉センターウイナス」を、50キロコースは「阿蘇市波野支所」をスタートしました。100キロの出発点、「温泉センターウイナス」では、阿蘇五岳太鼓の力強い演奏のなか午前5時にスタート。約900人のランナーがゴールの「阿蘇市総合センター」を目指して走りました。

今年で12回目の出場で、裸足で100キロ完走を目指した福岡県の松隈勇さん（76歳）は、「走るのも楽しみですが、年に一度、この大会で友だちと会うのが一番の楽しみ」と笑顔で話されました。

村内のエイドステーションでは、「そうめん」や「久木野そば」などが振る舞われました。

みなさんの情報をお待ちしております

南阿蘇村役場企画観光課企画係

☎0967(67)2230

## お二人に旭日単光章

役場久木野庁舎で、叙勲の伝達式が行われ、6月6日は故後藤繁美さん（白川）、18日は故北清孝さん（吉田二）が、旭日単光章を受章されました。

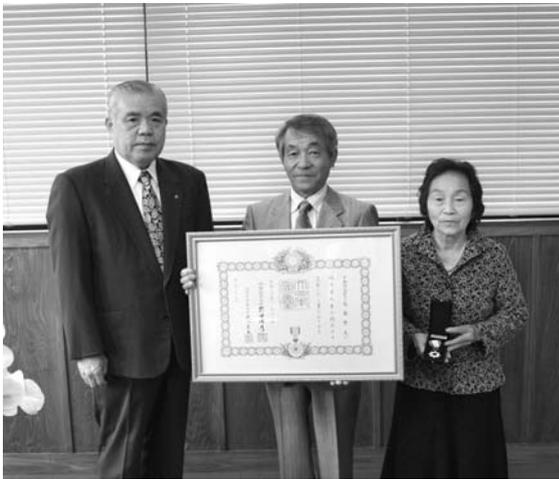
後藤さんは、旧白水村議会議員を3期（12年）にわたり務められ、総務常任委員会委員長などを歴任。地方自治の発展向上に尽力された功績が認められての受章となりました。

ご遺族の後藤晴雄さんは、「父が叙勲の榮譽として認められたことは、私たち家族にとって大きな喜びです」とあいさつされました。

## 故後藤繁美さん／故北 清孝さん

北さんは、旧白水村議会議員を3期（12年）にわたり務められ、村政発展向上に尽力されました。今回、その功績が認められての受章となりました。

ご遺族の北アキ子さんは、「夫が叙勲の榮譽として認められましたが、これもひとえに皆さまの永年にわたる心温かきご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます」とあいさつされました。



ご遺族の後藤タニ子さん（右・晴雄さん（中）と長野村長



ご遺族の北悦子さん（右・北アキ子さん（中）と長野村長

# 東日本大震災を踏まえて

## 防災会議・水防協議会開催

6月8日、久木野庁舎集会ホールで、「平成24年度南阿蘇村防災会議・水防協議会」が開催され、本村の地域防災計画の修正や、村内の災害発生危険箇所などについて協議しました。

会議には、自衛隊阿蘇地域事務所、熊本地方気象台、高森警察署、阿蘇広域消防本部、消防団幹部、村関係者など75人が出席。

地域防災計画では、東日本大震災での対応状況を踏まえた国の防災基本計画や、県の防災計画の見直し等の変更に伴い、災害時のヘリ運用体制の構築や、学校教育等での災害訓練、防災業務従事者の安全確保などを盛り込みました。

また、村内の災害危険箇所では、土石流危険渓流や土砂災害危険箇所を確認するなど、7議題が承認されました。



本年度の気象見通しについて説明する熊本地方気象台の職員

# 悔しさバネに中体連優勝

## 白水中学校女子バレーボール部

阿蘇郡市中体連が6月23日、阿蘇中学校体育館で開催され、白水中学校女子バレーボール部が見事優勝。県中体連への切符を手にしました。

同バレーボール部は、6月9日・10日に開催された「第33回熊本県中学選抜バレーボール大会」で、阿蘇郡市代表として出場。結果はベスト16と悔しい結果に終わり、県中体連での再戦を望んでいました。

大会を終え、キャプテンの高宮彩花さん（3年生）は、「皆さんのおかげで優勝することができました。もう一度、県大会でのリベンジのチャンスを手にしたので、チーム一丸となり、多くの方に「勇気と感動・笑顔」を与えられるようなプレイで目標達成を目指します」と、県中体連に向けての抱負を話してくれました。

県中体連は、

7月28日・29日  
宇土高等学校体育館（宇土市）  
で開催されます。



満面の笑みで賞状を手にする白水中学校女子バレーボール部の皆さん

# 犯罪・非行を防ぐ地域の力

## 社会を明るくする運動強調月間

7月の「社会を明るくする運動強調月間」に伴い7月2日、村内3中学校で阿蘇地区保護司会南部分会と村女性会のキャラバン隊の20人が、啓発キャンペーンを行いました。

この運動は、罪を犯した人たちの立ち直ろうとする気持ちを受け入れ、地域で支え合いながら安全・安心な社会を築くことを目的に、昭和26年から全国的な運動として取り組まれていきます。

長陽中学校では、登校する生徒たちに、「おはようございます。社会を明るくする運動です」と、一人ひとり声をかけながらチラシなどが配られました。

その後、キャラバン隊は役場各庁舎や高森警察署を訪問し、運動の理解を求めました。



登校する生徒たちに声をかける保護司会南部分会と村女性会の皆さん（長陽中学校）



キャラバン隊の皆さんと  
長野村長